

2021年度第2四半期 決算説明資料

2021年11月25日



株式会社 **中電工**

【説明者】 代表取締役社長 迫谷 章

Copyright©2021 CHUDENKO Corporation.All Rights Reserved

目次

ご説明内容

- 1 2021年度第2四半期業績および2021年度の業績予想
- 2 中期経営計画2024〔2021～2024年度〕の取り組み
- 3 参考情報(会社概要他)

1. 2021年度第2四半期業績 および2021年度業績予想

2021年度第2四半期業績

第2四半期業績および通期業績予想（事業環境と当社グループの概況）

建設業界

- 公共設備投資は底堅く推移
- 受注競争や労働者不足が継続
- 一方、コロナ禍の影響により、民間設備投資の縮小や先送りが懸念

当社グループの状況

- 中期経営計画2024がスタート
- 中国地域の基盤強化や都市圏の事業拡大、業務改革の推進などに取り組む

第2四半期業績および通期業績予想 【実績】(損益計算書:連結)

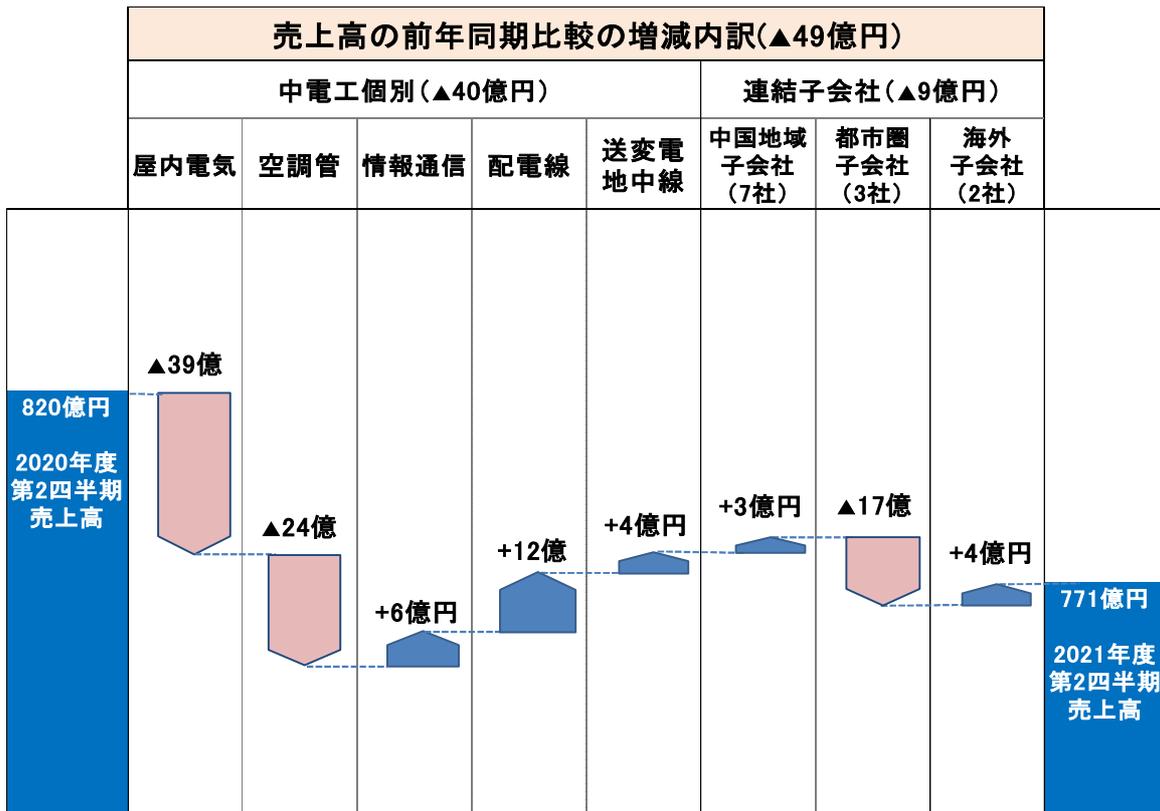
対前年度「減収・減益」

- 売上高は減少（中電工個別▲40億円減、連結子会社▲9億円減）
- 営業利益も減少（中電工個別▲7億円減、連結子会社▲1億円減）

連結業績	2020年度 第2四半期		2021年度 第2四半期		増減額	前年比
売上高	820	億円	771		▲49	94%
売上原価	711	億円	671		▲40	94%
売上総利益	(13.4%)	109	(13.0%)	100	▲9	92%
販管費		76		77	0	100%
営業利益	(4.0%)	32	(3.0%)	23	▲9	71%
経常利益	(5.4%)	44	(4.3%)	33	▲11	74%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	(3.6%)	29	(2.1%)	16	▲13	56%

※()内は売上高利益率

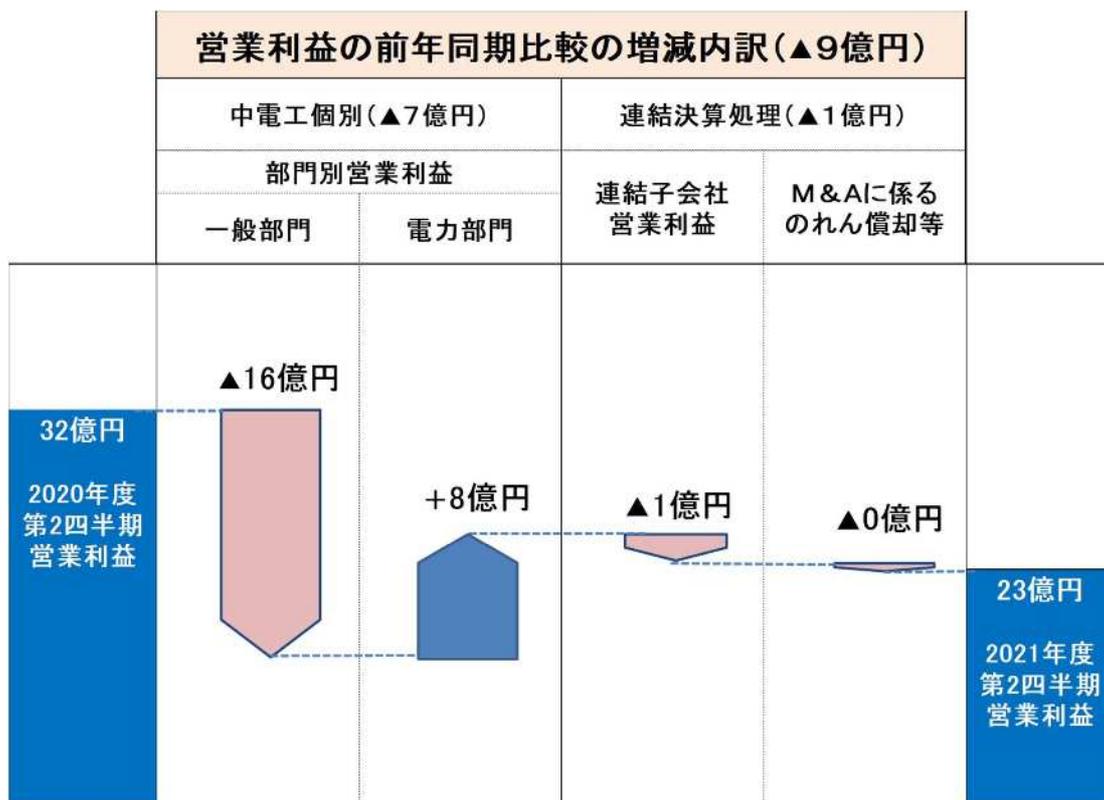
第2四半期業績および通期業績予想 【実績】(売上高の増減要因:連結)



6

Copyright©2021 CHUDENKO Corporation.All Rights Reserved

第2四半期業績および通期業績予想 【実績】(営業利益の増減要因:連結)



7

Copyright©2021 CHUDENKO Corporation.All Rights Reserved

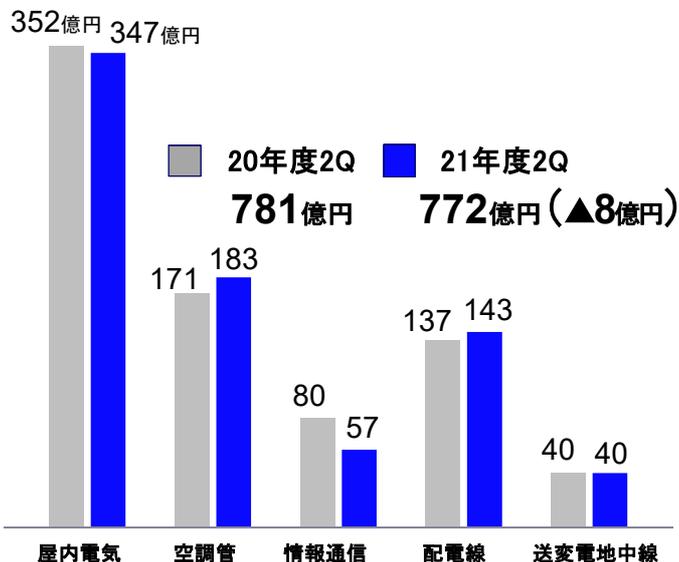
第2四半期業績および通期業績予想【実績】(貸借対照表:連結)

	2021年3月末	2021年9月末	増減	主な増減要因
流動資産	1,082億円	978	▲103	完成工事未収入金等 ▲169
固定資産	1,682億円	1,692	9	
資産合計	2,765億円	2,671	▲94	
流動負債	439億円	378	▲61	支払手形等 ▲58 未払法人税等 ▲7
固定負債	137億円	139	2	
負債合計	577億円	517	▲59	
純資産合計	2,187億円	2,153	▲34	利益剰余金 ▲12 自己株式 ▲10
負債純資産合計	2,765億円	2,671	▲94	
自己資本比率	77.6%	79.5	1.9	

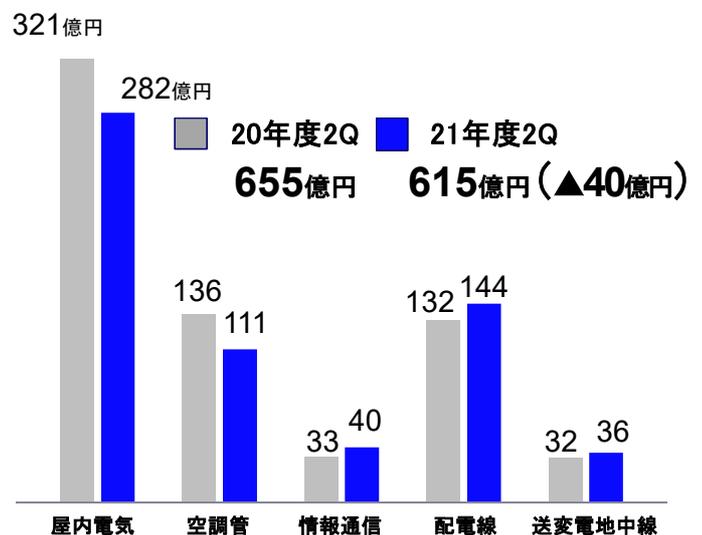
第2四半期業績および通期業績予想【実績】(部門別受注高・売上高:個別)

- 受注高は、772億円と対前年度▲8億円減（主に情報通信が減少）
- 売上高は、615億円と対前年度▲40億円減（主に屋内電気と空調管が減少）

受注高



売上高



2021年度業績予想

第2四半期業績および通期業績予想 【予想】(損益計算書:連結)

「増収・営業利益増益」の見込み

- 売上高は増加(中電工個別15億円増、連結子会社29億円増)
- 営業利益は、売上高増加に伴い売上総利益の増加を見込み増益

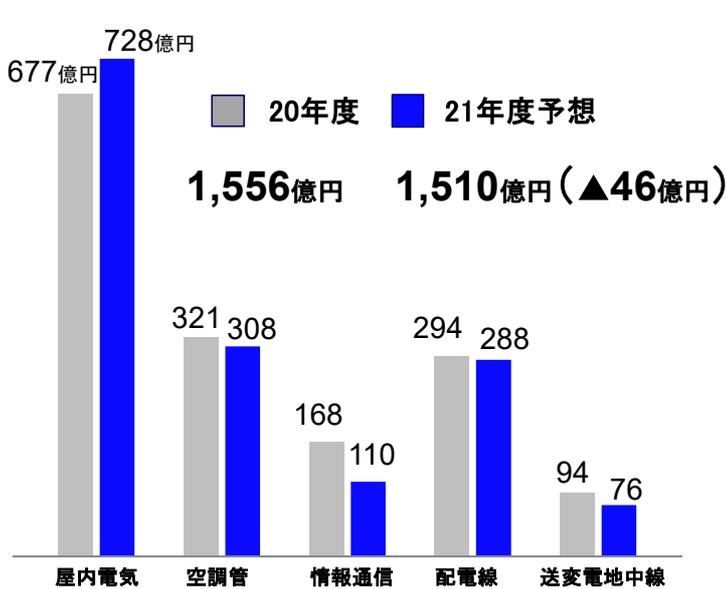
連結業績	2020年度実績		2021年度予想		増減額	前年比
売上高		1,844億円		1,890	45	102%
営業利益	(5.1%)	94億円	(5.1%)	97	2	102%
経常利益	(6.5%)	118億円	(6.2%)	117	▲1	98%
親会社株主に帰属する 当期純利益	(4.4%)	81億円	(3.6%)	68	▲13	84%

※()内は売上高利益率

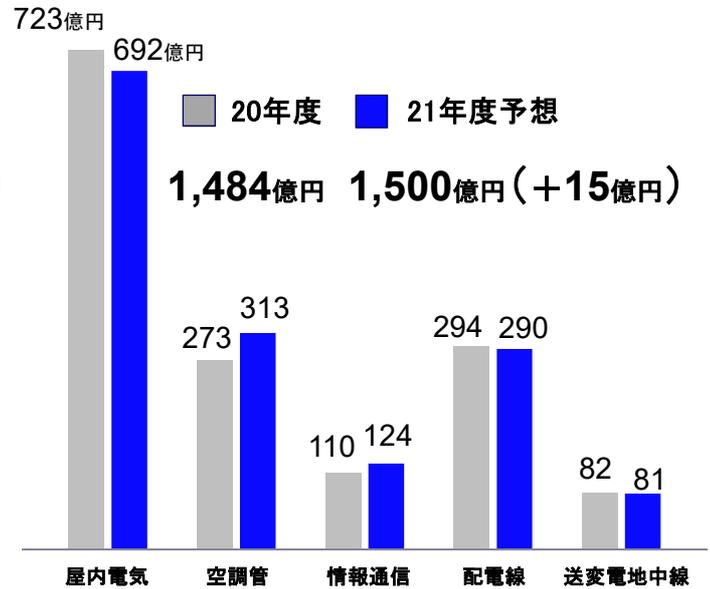
第2四半期業績および通期業績予想【予想】(部門別受注高・売上高:個別)

- 受注高は、▲46億円減少の見込み（主に情報通信の減少）
- 売上高は、15億円増加の見込み（主に空調管の増加）

受注高



売上高



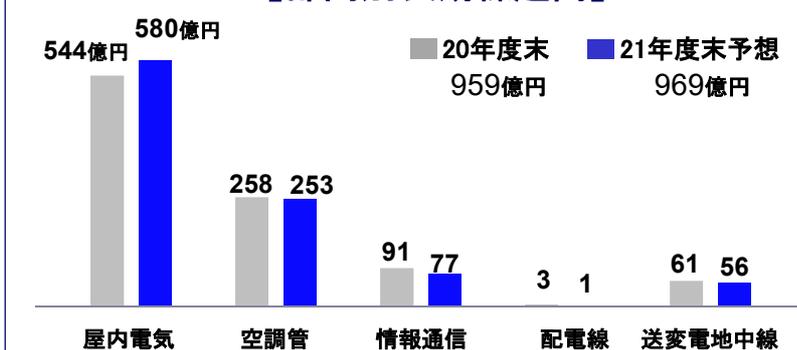
第2四半期業績および通期業績予想【予想】(受注高・売上高・繰越高:個別)

- 受注高は前年度を下回るものの、売上高は前年度を上回る予想

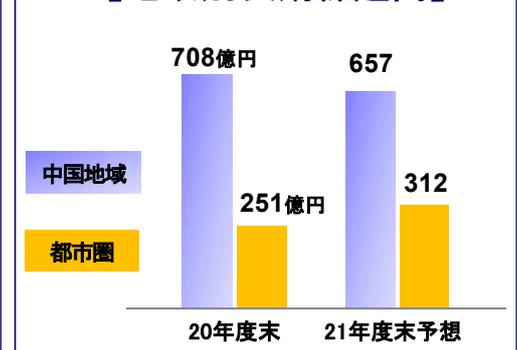
【受注高・売上高の推移】



【部門別次期繰越高】



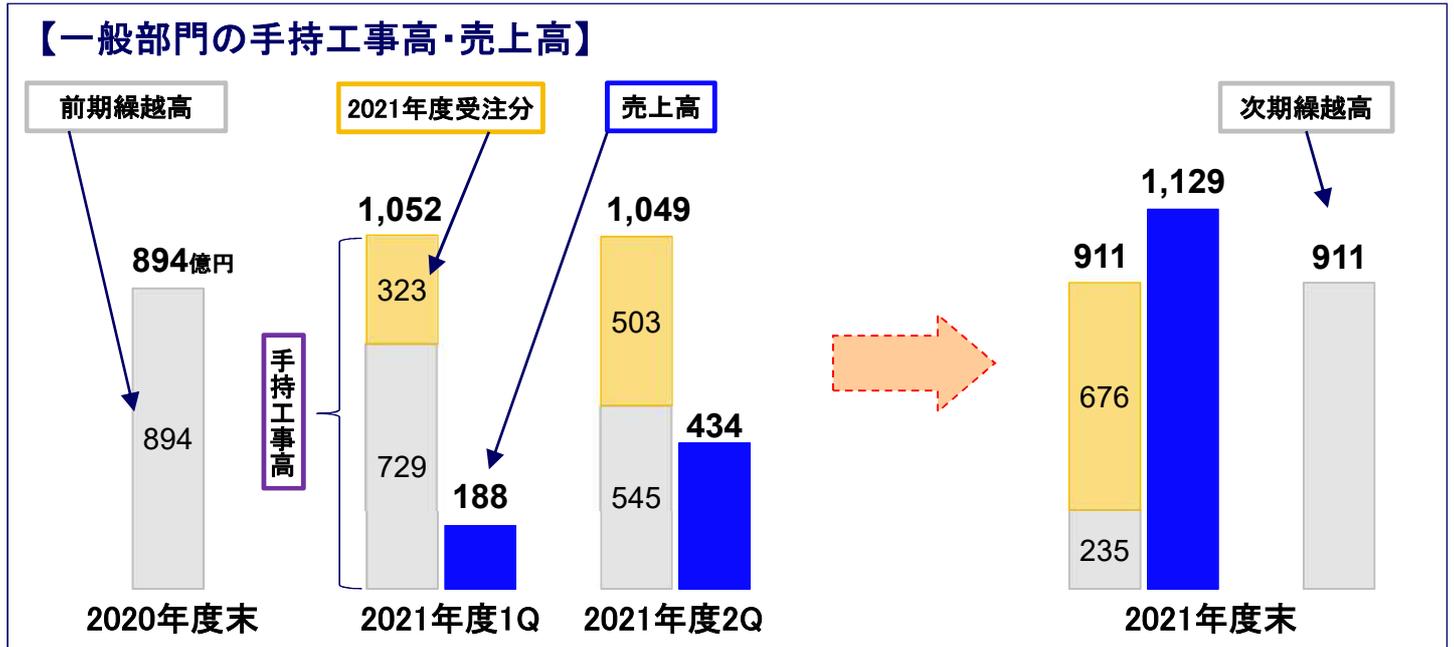
【地域別次期繰越高】



第2四半期業績および通期業績予想【予想】(手持工事高・売上高:個別)

➤ 一般部門の繰越高は、17億円増加の見込み

【一般部門の手持工事高・売上高】

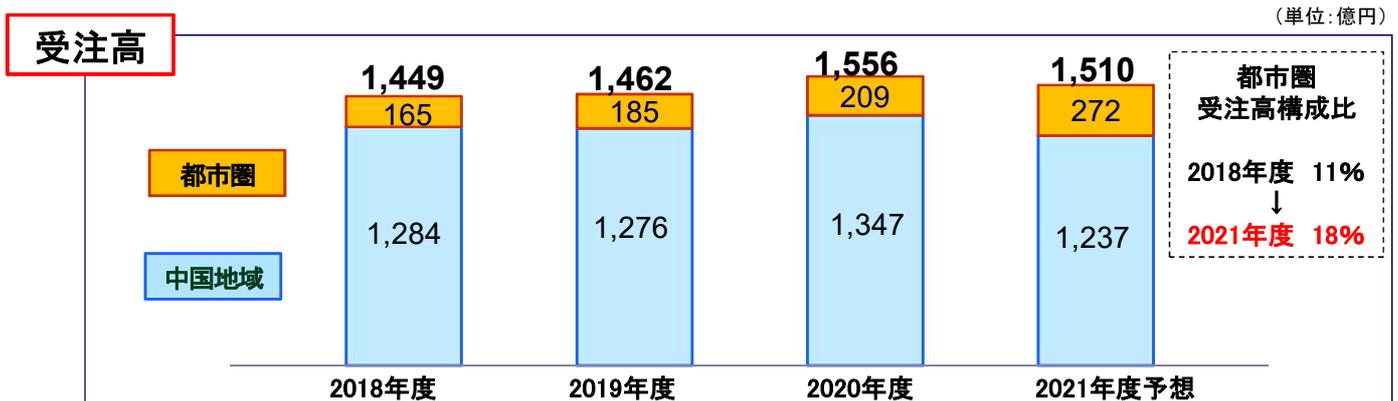


$$\text{手持工事高} = \text{前期繰越高} + \text{当年度新規受注高}$$

Copyright©2021 CHUDENKO Corporation.All Rights Reserved

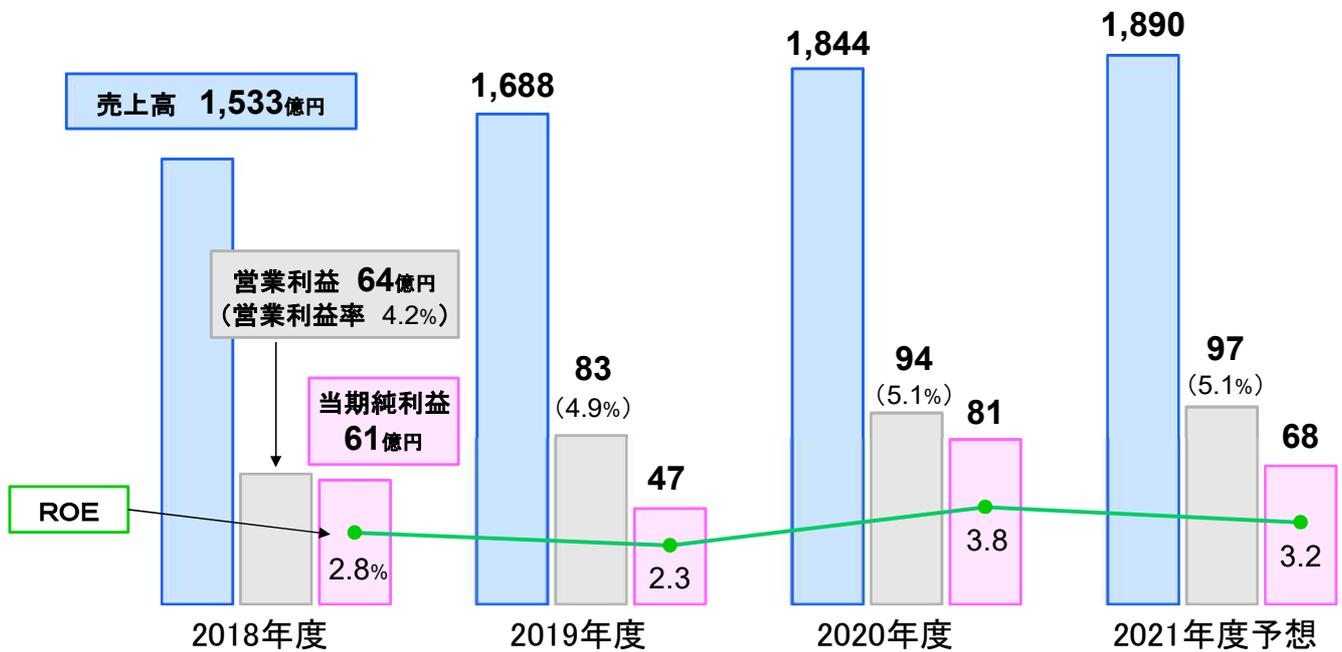
第2四半期業績および通期業績予想【予想】(地域別受注高・売上高:個別)

➤ 中国地域の売上を維持しつつ、都市圏を拡大



第2四半期業績および通期業績予想【予想】(主な経営指標の推移:連結)

- 売上高は10期連続の増収、営業利益は3期連続の増益の見込み
- 営業利益率は前年並み、ROEは低下の見込み



2. 中期経営計画2024〔2021～2024年度〕

中期経営計画2024（テーマ・サブテーマ）

テーマ

「変革と成長」

- 当社グループが引き続き成長を続けていくためには、これまで以上に環境変化に迅速に対応して変革を進めることが不可欠

サブテーマ

「営業・施工体制の強化と利益の拡大」

- 中国地域の基盤強化、都市圏の体制強化・事業拡大
- 厳しい環境にあっても利益を確保・拡大できる体制の強化・競争力強化

「DXと脱炭素化の推進」

- DXによる生産性向上を推進
- SDGsやカーボンニュートラルへの対応
 - ・自社の脱炭素化
 - ・お客様への脱炭素化支援事業の推進（自家消費型太陽光PPA事業など）

中期経営計画2024（主要施策）

受注の拡大・施工体制の強化

- ◆ 営業力の強化による受注拡大
- ◆ 実績データの分析やBIM等を活用した設計力の強化・向上
- ◆ 施工体制の強化・拡充

⇒営業本部・技術本部・購買部が連携し、大型物件の受注拡大を図る

⇒地中線工事と送変電工事を送変電地中線工事に一本化し、施工体制を強化

利益の確保・拡大と競争力強化

- ◆ 工事の平準化やフロントローディング等による施工の効率化
- ◆ 全社およびグループ企業と連携したコスト低減
- ◆ DXの推進による生産性向上

⇒フロントローディングによるリスクヘッジや工場加工品等を採用し原価低減

⇒DX推進プロジェクトで各部門が取り組むタスクを抽出し、アクションプランを策定

⇒DX推進プロジェクトの体制強化

人材育成の強化と働き方改革の推進

- ◆ 施工管理の強化に向けた人材育成
- ◆ グループ全体での技術・技能者の確保・育成
- ◆ 働き方改革の継続および実践、働きがいのある職場の形成

⇒建設業に罰則付き時間外労働上限規制が適用となる2024年度を1年前倒し、2023年度での目標達成をめざした「働き方改革中期アクションプラン2024」を策定

中期経営計画2024（主要施策）

品質の向上

- ◆ 電力安定供給への確実な貢献
- ◆ お客様満足度の向上

⇒ 日々の高経年化工事に加え、自然災害や緊急工事への迅速な復旧対応
 ⇒ 工程内検査や機能確認検査などの品質管理体制を充実・強化

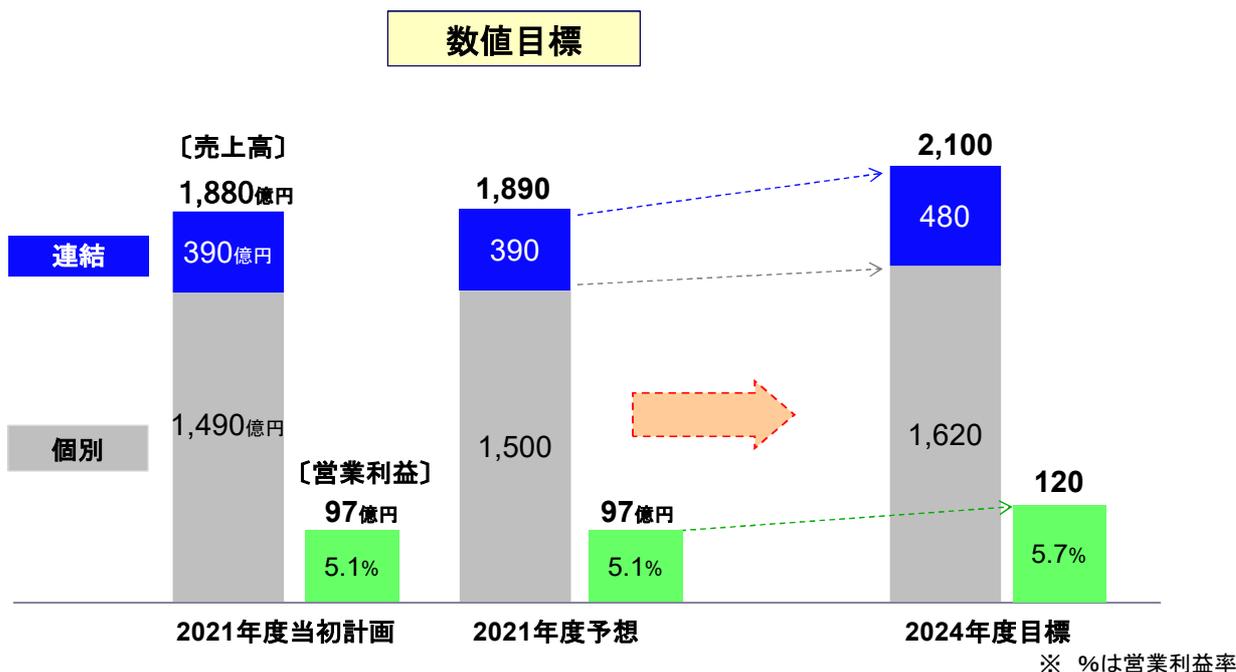
成長投資(M&A・出資等)による事業拡大

- ◆ 自社の脱炭素化
- ◆ 脱炭素化支援として環境関連ビジネスの推進
- ◆ 施工体制の強化等に向けたM&Aの推進

⇒ 自社社屋への自家消費型太陽光発電の設置は、全体で56カ所を予定。2021年度は21カ所に設置予定
 ⇒ 自家消費型太陽光PPA事業やZEB化およびESCO事業について、お客様に積極的に提案を実施

中期経営計画2024（数値目標:連結）

- 「中期経営計画2024」を、グループ一体となって取り組み、目標達成
 ⇒ 2024年度目標 売上高2,100億円、営業利益120億円



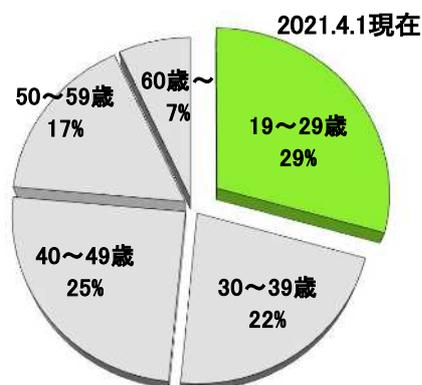
中期経営計画2024（人材の確保・育成）

定期採用者数

2021.10.1現在

2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
132名	133	119	138	135

年齢別構成(個別)



有資格者数

資格名	取得者数		
	18年10月	21年10月	増減
電気工事施工管理技士(1.2級)	1,037名	1,123	86
管工事施工管理技士(1.2級)	278名	285	7
技術士	54名	62	8

※施工管理技士(電気工事・管工事)の複数取得者 59名

30歳未満が約3割

若年社員の成長

技術力・施工力UP

中期経営計画2024（資本政策の具体策）

資本政策の具体策

持続的な成長のための投資

事業の拡大や人材の確保・育成等、持続的成長に向け、400億円規模の投資を実施する。

- コアおよびコア周辺事業等のM&A
- 人材育成・働き方改革
- 自社の脱炭素化
- 脱炭素化支援として環境関連ビジネスの推進
 - ・ 自家消費型太陽光PPA事業、ESCO等の省エネ提案
 - ・ 再エネへの投資
- 将来有望事業等への投資

中期経営計画2024（株主還元）

株主還元

持続的・安定的な配当を行うことを重視し、DOE（連結株主資本配当率）2.7%を目処に配当を行う。

また、経営環境等を総合的に勘案したうえで、必要に応じて自己株式取得を実施する。

配当

2021年度予想・・・DOE 2.75%，年間1株当たり配当金 104円

【参考】配当利回り 4.82%（2021年11月10日 終価 2,157円）

連結配当性向（予想） 84.1%

連結総還元性向（予想） 104.3%

自己株式

2021年度・・・取得株式数：60万株（取得価額 13億円）

【参考】（2021年9月末現在）

発行済株式の総数 5,813万株（うち自己株式数299万株）

中期経営計画2024（配当金・配当性向）

配当金・配当性向の推移



配当方針

【12年度】
安定配当
20円

【13年度】
業績連動
配当性向
30%

【14年度】
DOE
2.0%目処

【17年度】
DOE
2.5%目処

【18年度】
DOE
2.7%目処

中電エレポート2021（統合報告書）の発行

- 本年9月30日に中電エレポート2021を発行，Webサイトに掲載。
- ESGへの取り組みなど，幅広く情報を提供。



3. 参考情報

参考情報（中電工の概要）

会社名	株式会社 中電工		
代表者	代表取締役社長 迫谷 章		
設立	1944年9月(設立時:中国電気工事株式会社)		
資本金	34億8,190万円		
株式上場	東京証券取引所市場第1部(1972年上場)		
本店所在地	広島市		
連結対象企業	13社		
事業内容	総合設備工事業、電材販売、保険代理、リース業		
社員数	4,468名(連結)	3,366名(個別)	(2021年3月31日現在)
売上高	1,844億円(連結)	1,484億円(個別)	(2020年度)
総資産	2,765億円(連結)	2,562億円(個別)	(2020年度末)



本店(中電工平和大通りビル)

参考情報（事業拠点:中国地域）

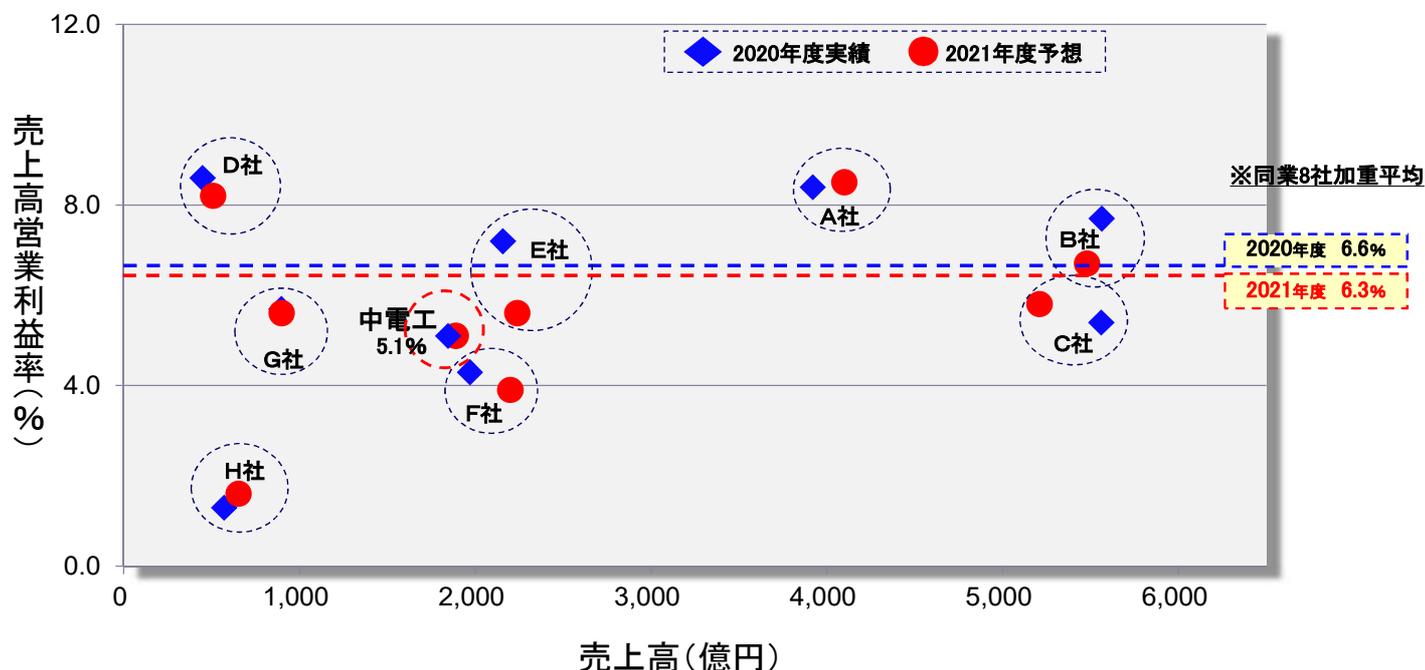
- 中国地域に9支社を中心に、69事業場を設置
- 効率的な施工体制を進め、緊急の即応体制も整備



参考情報（売上高と営業利益率の電力系同業他社比較:連結）

➤ 2021年度予想の営業利益率は5.1%で同業他社平均より低位置

売上高と売上高営業利益率(2020年度実績・2021年度予想)



参考情報（SDGsへの取り組み）

SDGsで掲げる17の目標等を参照し、4つの課題を選定。

当社の事業活動を通じ、ステークホルダーの期待に応えていくとともに、SDGsの実現を目指す。

課題	中期経営計画における取組み
安全とコンプライアンスの徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 重大災害再発防止対策の実施状況の確認と基準ルールの徹底 ▶ 現場に即したリスク低減と不安全行動の排除 ▶ コンプライアンス意識の浸透に向けた教育の継続実施 ▶ 「心と体の健康管理」の充実 ▶ 新型コロナウイルス等の感染症予防対策の実施
安心・高品質な設備の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 高品質な電力設備工事および迅速な災害復旧対応 ▶ 地中線工事、自営線工事の取り組み強化 ▶ 工程内検査等の品質管理体制の充実・強化 ▶ お客様とのコミュニケーションの充実による迅速できめ細やかな対応 ▶ DXの推進による生産性向上 ▶ 技術研究開発の促進
脱炭素社会の実現 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 太陽光発電等の再エネ案件を中心とした環境関連ビジネスへの参画 ▶ 自家消費型太陽光PPA事業 ▶ ZEB・ESCO等、省エネ提案の取り組み強化 ▶ 自社での脱炭素の取り組み
人材育成と多様性社会の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ グループ全体での技術・技能者の確保・人材育成の推進 ▶ 中電工協会・グループ企業との連携強化 ▶ 中電工協会会員への技術教育等のフォロー ▶ 働き方改革の継続および実践、働きがいのある職場の形成 ▶ ワーク・ライフ・バランスおよびダイバーシティの推進

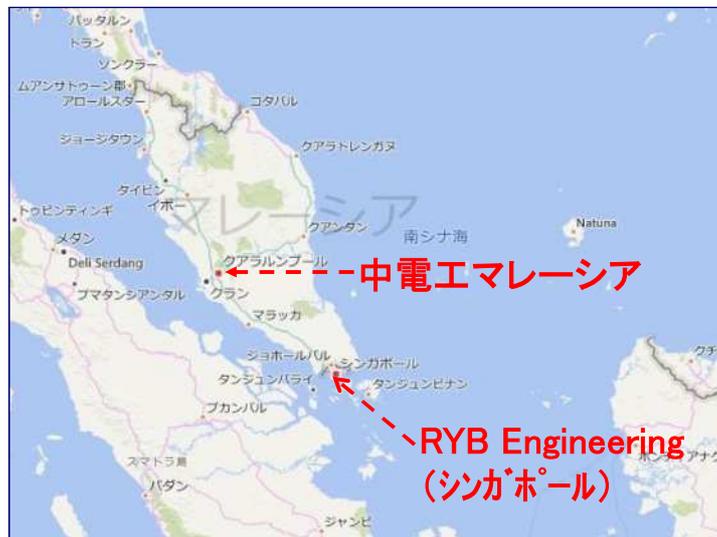
参考情報（事業拠点：都市圏・海外）

- 都市圏に本部・支社、海外は東南アジアに子会社を設置し、事業を拡大

【都市圏】



【海外】



参考情報（中電エグループの概要）

＜連結子会社＞

会社名	住所	中電エの議決権比率	主な事業
三親電材㈱	広島市	50.03%	電気機器・工事材料の販売、電気通信工事等の施工
中工開発㈱	広島市	100.0%	保険代理、リース
㈱イーバック広島	広島市	100.0%	電気・空調管工事等の設計・積算
㈱中電エテクノ	広島市	100.0%	配電線工事の施工
㈱中電エエレテック広島・島根 ※1	広島市	100.0%	電気工事等の設計・施工
㈱中電エエレテック岡山・鳥取	岡山市	100.0%	電気工事等の設計・施工
㈱中電エエレテック山口 ※2	山口市	100.0%	電気工事等の設計・施工
杉山管工設備㈱	横浜市	100.0%	空調管工事等の設計・施工
早水電機工業㈱	神戸市	100.0%	電気工事等の設計・施工
㈱昭和コーポレーション	東京都	100.0%	熱絶縁工事の設計・施工・監理、断熱配管支持金具の製造・販売
CHUDENKO(Malaysia)Sdn.Bhd.	マレーシア	100.0%	電気工事等の設計・施工
CHUDENKO ASIA Pte.Ltd.	シンガポール	100.0%	子会社の運営管理
RYB Engineering Pte.Ltd.	シンガポール	70.0%	電気工事等の設計・施工

※1 2021年7月、株式会社広島エレテックが株式会社島根エレテックを吸収合併し、商号を変更しています。

※2 2021年4月、株式会社山口エレテックが商号を変更しています。

＜非連結子会社＞

㈱ベリーネ	浜田市	66.5%	農業に関する事業
㈱中電エワールドファーム	広島市	92.3%	農業に関する事業

将来見通しに関するご注意事項

本資料に記載されているデータや業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【本資料に関するお問い合わせ先】

株式会社 **中電工**

〒730-0855

広島市中区小網町6番12号

TEL:082-233-9034

FAX:082-234-8075

E-mail:kikaku@chudenko.co.jp

担当:企画本部 経営企画部(IR担当)